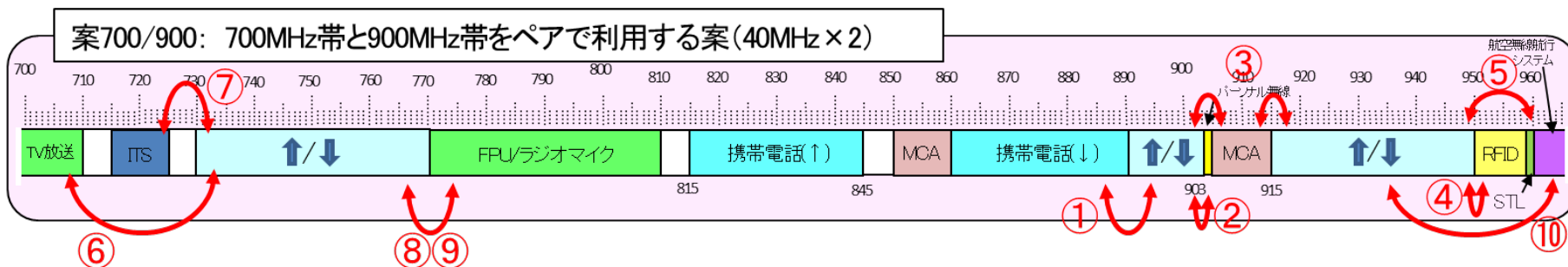


携帯電話等高度化委員会における検討状況(抜粋) 700MHz帯割当検討モデル案と必要な干渉検討パターン

1 700MHz帯/900MHz帯ペア案(従来の検討案)

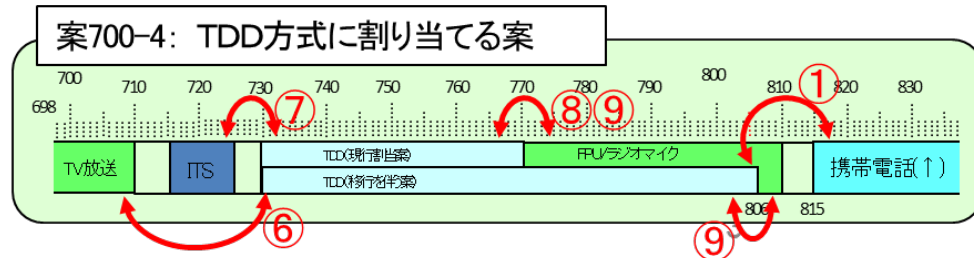
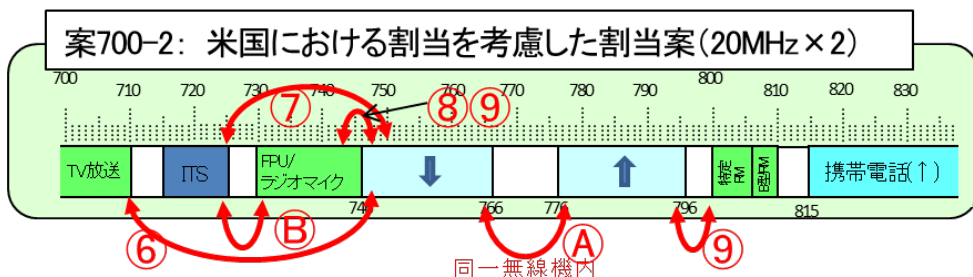
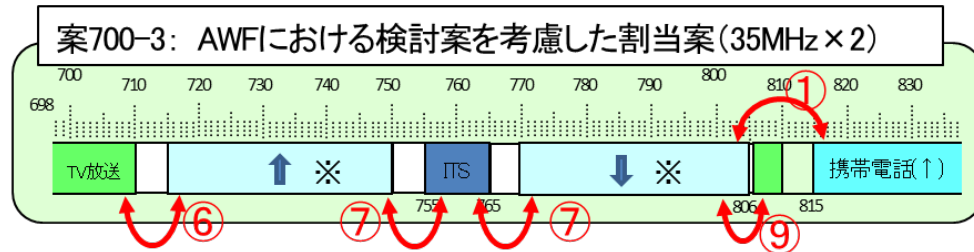
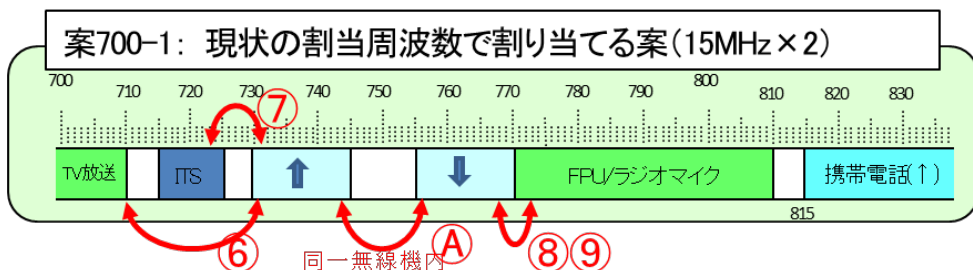
(注) 赤色矢印: 検討済



【700MHz帯】

- ① 携帯電話(800MHz帯)との干渉検討
- ② TV放送との干渉検討
- ③ ITSとの干渉検討
- ④ FPUとの干渉検討
- ⑤ ラジオマイクとの干渉検討
- ⑥ 700MHz帯移動通信システム同士の干渉検討
- ⑦ ITSとFPU/ラジオマイクとの干渉検討

2 700MHz帯の再編案



各システムの共存に必要な最小ガードバンド(GB)幅等と共存条件(700MHz帯)

与干渉 被干渉	携帯電話↑ (移動局、中継を行う無線局(基地局対向器))	携帯電話↓ (基地局、中継を行う無線局(陸上移動局対向器))	TV放送	ITS	FPU	ラジオマイク
携帯電話↑ (基地局、中継を行う無線局(陸上移動局対向器))		① GB:10MHz ※基地局に送信フィルタ挿入 (A) 伝送幅の約2倍のバンドGAP、約3倍の送受信GAPで装置設計可能	⑥ GB:4MHz(+離隔距離:2.3km) GB:6MHz(+離隔距離:0m) ※送信フィルタの交換等 ※極微小電力局を大規模中継局設備に交換 ※基地局/中継局受信フィルタ挿入 ※小電力レビータのデュプレクサ実力値考慮	⑦ GB:5MHz ※ITSマスク改善、実力値考慮 ※サイトエンジニアリング ※中継局受信フィルタ挿入 ※小電力レビータ運用上の干渉軽減要素考慮 ※ITS路側機送信フィルタ挿入	⑧ GB:0MHz(中継局・小電力レビータ) ※確率モデル GB:5MHz(基地局) ※FPU実力値考慮 ※一定の離隔距離確保 ※サイトエンジニアリング	⑨ GB:1MHz(基地局・小電力レビータ) ※ラジオマイク実力値考慮 GB:3MHz(中継局) ※ラジオマイク実力値考慮 ※ラジオマイク実運用を考慮し総合的に判断
携帯電話↓ (移動局、中継を行う無線局(基地局対向器))	① GB:12MHz ※実力値考慮 (A) 伝送幅の約2倍のバンドGAP、約3倍の送受信GAPで装置設計可能	⑥ GB:30MHz(+離隔距離:470m) GB:60MHz(+離隔距離:0m) ※送信フィルタの交換等 ※極微小電力局を大規模中継局設備に交換 ※移動局/小電力レビータのデュプレクサ実力値考慮	⑦ GB:5MHz ※ITSマスク改善、実力値考慮 ※サイトエンジニアリング ※中継局受信フィルタ挿入 ※小電力レビータ運用上の干渉軽減要素考慮 ※移動局製造マージン考慮	⑧ GB:0MHz(移動局・小電力レビータ) ※確率モデル 共用も可能 ※一定の離隔距離確保	⑨ GB:0MHz(移動局) ※確率モデル GB:1MHz(中継局・小電力レビータ) ※ラジオマイク実力値考慮 ※ラジオマイク実運用を考慮し総合的に判断	
TV放送	⑥ GB:8MHz (TV受信機器&TV受信用ブースタ) ※所要離隔距離確保 ※サイトエンジニアリング ※中継局送信フィルタ挿入 ※移動局/小電力レビータ不要輻射実力値考慮 ※TV側に受信フィルタ挿入	⑥ GB:60MHz (TV受信機器&TV受信用ブースタ) ※所要離隔距離確保 ※サイトエンジニアリング ※基地局/中継局送信フィルタ挿入 ※小電力レビータ不要輻射実力値考慮 ※TV側に受信フィルタ挿入	GB:5MHz ※ITS委で検討済	GB:5MHz ※ITS委で検討済	-	-
ITS	⑦ GB:5MHz(チャネル幅:5MHz) GB:7MHz(チャネル幅:10MHz又は15MHz) ※サイトエンジニアリング ※中継局送信フィルタ挿入 ※移動局/小電力レビータ運用上の干渉軽減要素、不要輻射実力値考慮	⑦ GB:5MHz ※サイトエンジニアリング ※基地局/中継局送信フィルタ挿入 ※小電力レビータ運用上の干渉軽減要素、不要輻射実力値考慮 ※ITS感度抑制実力値考慮	GB:5MHz ※ITS委で検討済	⑧ GB:5MHz ※確率モデル ※FPU送信フィルタ実力値考慮 ※ITSの希望波レベル考慮	⑧ GB:5MHz ※確率モデル ※FPU送信フィルタ実力値考慮 ※ITSの希望波レベル考慮	
FPU	⑧ GB:3MHz(中継局) ※送信フィルタ挿入 ※中継局実力値考慮 GB:5MHz(小電力レビータ) ※小電力レビータ実力値考慮 ※一定の離隔距離確保 ※サイトエンジニアリング GB:10MHz(移動局) ※移動局実力値・送信特性考慮 ※一定の離隔距離確保 ※サイトエンジニアリング	⑧ GB:3MHz(中継局) ※送信フィルタ挿入 ※中継局実力値考慮 GB:4MHz(基地局・小電力レビータ) ※基地局送信フィルタ挿入 ※基地局/小電力レビータ実力値考慮 ※小電力レビータ一定の離隔距離確保 ※小電力レビータ サイトエンジニアリング	-	⑧ GB:5MHz ※ITS側マスク規格値強化 ※ITS送信フィルタ実力値考慮 ※ITS間欠送信による干渉緩和効果考慮 ※FPU伝送時のインターリーブ効果考慮 ※サイトエンジニアリング	【注】 各枠内の「GB:0MHz」は最小所要ガードバンド幅を示し、左上の数字等(例:①、(A))は、「700MHz帯干渉検討組合せ」の各組合せを示す。	-
	-	-	-			
ラジオマイク	⑨ GB:3MHz(中継局・小電力レビータ) ※中継局送信フィルタ挿入 ※中継局/小電力レビータ実力値考慮 ※小電力レビータ実運用を考慮し総合的に判断 GB:4MHz(移動局) ※移動局実力値考慮 ※移動局実運用及び利用事例に応じた調整を考慮して総合的に判断	⑨ GB:1MHz(小電力レビータ) ※小電力レビータ実力値考慮 GB:3MHz(基地局・中継局) ※送信フィルタ挿入 ※基地局/中継局実力値考慮	-	⑧ GB:7.5MHz (ITS車載器で街角中継モデル、かつ、ラジオマイク移行時の両者隣接期以外の場合) GB:5MHz (前記以外の場合) ※ITS側マスク規格値強化 ※ITS送信フィルタ実力値考慮 ※ITS間欠送信による干渉軽減効果考慮 ※ラジオマイク運用方法等による干渉緩和効果考慮		-
	-	共用も可能 ※一定の離隔距離確保	-			

□ : 現行システムを前提に検討済

斜体字: 周波数移行過程時